



絵本の読み聞かせ (公民館・令和7年3月)



主任児童委員は主任児童委員の組織として、「岐阜市主任児童委員連絡会」を組織しており、現在94名の主任児童委員が活動しています。年間を通して、4回の役員会及び2回の全体研修会を開催しています。

全体研修会では、児童分野の専門家や関係行政機関の職員を講師に迎え講演会形式で実施しており、毎回多くの委員が参加しています。

主任児童委員について

主任児童委員の未来のために

岐阜市民生委員・児童委員協議会

南部ブロック

また、市内を中央・東部・西部・南部・北部の5つのブロックに分け、ブロック単位でもさまざまな活動を行っています。

南部ブロックについて

南部ブロックは、市内の南部に位置し、県庁やJR岐阜駅南口周辺を含む地域です。エリア内にはスーパーマーケットや飲食店、医療機関などが充実しています。

南部ブロックの人口は、市全体の約29%を占めており、加えて、0歳から19歳までの人口も約31%を占めていることから、子育て世帯が多く暮らしている地域でもあります。

南部ブロックの活動について

現在、南部ブロックでは、19名の主任児童委員が活動しており、主に勉強会や施設見学会を実施しています。

勉強会では、主任児童委員のOBや退職された校長先生などを講師にお招きしています。直近では、学習支援塾の塾長を講師に迎え「子どもの貧困について」と題し、貧困問題をはじめとした、昨今の子どもを取り巻く課題についてご講演いただきました。

施設見学では、市内の子育て支援施設、児童養護施設、母子生活支援施設などを訪問しています。昨年度は、令和3年4月に、東海地区で初めて開校した公立の不登校特例校「草潤(そうじゅん) 中学校」を見学しました。

また、各委員は、それぞれの地区においても積極的に子育て支援活動を行っています。その一例として、地域の公民館や児童館において未就学児親子を対象とした子育てサロンを開催しており、委員は、参加者からの「たのしかった」「ありがとう」といった言葉を励みに日々の活動に取り組んでいます。

課題と今後について

近年、就労しながら主任児童委員の活動を行う委員が増える中、主任児童委員として活動しやすい環境づくりが課題であると感じています。委員の負担軽減のため、活動回数を減らすことも一つですが、委員同士の親睦や情報交換の場も同時に大事にしていかなければなりません。

今後は、既存の考え方に縛られず、臨機応変に活動することで、誰もが活動できる主任児童委員を目指していきます。



『0歳児のつどい』(コミュニティセンター・令和7年5月)